實物

ス

ルノデアル、又搾葉ト

小何

ノ誤デアラウ

小思

ラ

ガ帯 ムル

モ諸

敎

員

對

シテ教 生き 雄花

科

ナル學科 附キタ

ハ生キタル實物ニョリテ授クルノガ最モ有効デ且最モ生氣アル教授法 ル栗ノ搾葉ヲ多數ニ用意セヨト希望シテアル要スルニ是レハ一向ニ其要旨

デアル余ヲシテ此事ニ 事カ多分腊葉

就キ希望ヲ述ベシ

ナラバ ネ

栗ノ花ノ

下謂

ナラヌ然ルニ

(ア用意 ヲ用意

ŀ

來テハ用意ノ仕方ガ寧ロ粗略

書中ニハ隨分ト驚キ入ッタ書キ方ヲシテア 科教授細目」ト題セルー書トナシ其市

ĵν

モノガアルノヲ見タ今其一二ノ例ヲ舉

校ノ校長連ガ多數相

集

イテ多クノ貴重 処ニ有名

ナル

. 時間ヲ消シ且多額ノ費用ヲ擲チテ敎授

ノ市役所デ發行シ市内ノ各小學校

ニ配布セ

シ

モノ

,ヲ謹

ン

デ拜讀ス

ルニ其 當リ雌

'n

レバ栗ヲ

授ク

-ル

=

ガ徹

底シテ居ナイ元來

東京ヲ南

距

ル七里許

ラ處

ナル

開港場ガアル縣廳、

税關

ナドモ

てつかへでヲ産ス

大洞澤ニ入リテ俗稱「布袋ノ横這ヒ」ニ達セシ時余等ハたてやまうつぼぐお(Prunella prunelliforme Makino))\* | 一川澤迦」ニ得タリ蓋シ同山第二ノ産地歟 ひめくもまぐさ(Saxifraga bronchialis L.)ハ從來表山ノ「八方瞰」ノ岩壁ニ知ラレhachii Makuwo.)ニ似タル野生品ナリ此邊又こみやまかたばみ、てつかへでヲ産ス タリ ŀ 雖 モ 今囘余等ハ

ひめしゃじん (Adenophora nikoensis Fr. ET SAV.) ノ純白花ノモノ幷ニくろくもおう(Saxifraga fusca MAXIM.)ノ

綠白花ノモノヲ得タリ

h 尙當時ねてしでハ果實ヲ有シみやまままてなハ美花紅葉ヲ裝ヒしさんからまつハ其亭々タル莖ヲ叢中ニ抽キさ ばいさう、うさぎぎく等ノ黃花岩罅ヲ領シ高山的美觀ノ自ラ備ハレルヲ示セリ

## 〇某市小學校長會編纂『教授細目』中ノ搾葉ト筍等

原

横濱植物會會員

虎

アッテ般富 ナ市ヲナシラ居ル同 之 市

ノ細目ヲ作リ之ヲ「小學校各

某市小學校長會編纂『教授細目』中ノ推葉ト符等

某市小學校長會編纂『教授細目』中ノ推葉ト筍等

授 云フ義 ガ解シ 方針 得ヌ ラ示 ノ字 = ュ サ トニナ ン ヱ 搾葉 ŀ ス ルデアラ ŀ jν 指導者 書ケ / バ是レ ガ此睹易キ文字ヲ誤 ハ腊葉ノ誤リデア w ルト ナ ١, 知ラヌ人々ニハ此搾り葉 ۱ر 類ル滑 稽 デア jν 否 ナ 極 トハ何ノコト メ テ | 疎漏 デ ァ カ少シ w 搾 モ其 L ぼる

次二圖畫科二於 **小テ**筍

ナラ テア 變ジタモノデアル) ノ着キ方ハ1/2 ノ互生デアル、聞ク所 ヌコンナ筍ハ世界中何處ヲ尋ネテモアルマイト思フ元來竹 ル若シ之レニ據リテ畫カンカ忽チ其圖 ア輪ヲ きカシ ムルニ當り左

ノ下者ノ如ク一節ニ三四枚ノಭガ

ニョレバ

此

書ヲ

編纂ス

ענ

際 jν

プ患告

ŧ

ァ

タソウデアル

ガ編

其誤リ

ラ正

コスノ

ハ不本科

ノ植物デア

カラ其筍モ葉 ニ相當研究者

(籜

葉

アリ

ソ

ウナ

· 筍

畫

ガ出

來上 ケ

ラネ

一ノ圖

ノ上者ノ如

ク皮(

)ノ組合方ヲ一二ノ順序ニ

畫

ŀ

註

文

シ

## 皮ノ組合方



上ノ圖式、從フテ書キシ筍

シニョ 雅量モ ŀ ナッタノデアル若 リ忽 ナク傲然ト其マヽニ其書ヲ出版 チー 此樣 ナ失體ヲ曝露 3 此書ニ盲從シ之 w

3

ヲ其 バ其生徒 7 ンコソ 用 ヰテ生徒 -3 イ迷惑デアル ニ教授スル教員アレ

此つつじもちい Exobasidium japonicum SHIRAL ト稱スル餅病菌(植物)ノ寄生デ出來タモ 右ノ外尙同書ノ第七頁ニ「つつじもちト稱スル葉肉ノ厚サデナリタ ノ巢ダナドト云フノハヨイ加減ナ想像デアル jν 部へ蜂其他 して昆蟲 ノデ昆蟲ハ一切之レ ノ巢ナリ」 ŀ ァ ν ŀ = Æ

場合モアルガ然シ多少中空ニナッテ居ルモノガ多イ此ノ様ニ本ノ方ハ肉ガ厚クテ稈 デモ全然中質ナ竹ノ種類ハ無イ同島ニハ刺竹ト呼ブ竹ガアッテ其稈ノ或ル ジ第七頁ニ「竹ハ一般ニ中空ナリト雖モ臺灣産ノモノニハ中質ナルモノアリ」ト モ ノハタ ダ本 アレ リ或 ١, ノ方ガ全ク質シテ居ル æ 是レ ハ全ク質シ或ハ多 モマ ズイ臺灣

叉同

關

係ハナイ之ヲ昆蟲

思

フニ上

あまどころ及

ビなるこゆ

ニシテ全癒スル

同地

方ニ

テハ

皆此

稱シテ居

ル、手足ヲ挫

キシ時其局 りノ 功能

所へ該草

1

此兩者

Ŧ

キテ掘リ

採

テ用ウ

n

ŀ

アル

ガ是

 $\nu$ 

モ徹

底

タ書キ方デ

ナイ、

菊

ノ花ノ舌狀花

ニハ種々ノ

變化

ハアル

ルガ大抵

嚴存

セ

jν

中

D

花 シ

共

菊ノ

モ ŀ ム

花

又第八頁ニ「にがな、じしばり等」トアル此じしばりハ當ニぢしばりト に三全然中實シタ竹 ア w ガ 抻 部 以上 種類 ۱۷ ŀ, ハ臺灣デモ見ラレナイバ 1 稈 デ Æ 獑 Þ 肉 ガ 薄 Ì カリデナク恐ラクコン ナ ッ テ尋常、 ノ竹 ラ様 書カネ = ナ竹ハ 大 ナ ナラヌ是 jν 何處 空 洞 = ŀ シハ地 æ ナ  $\mathcal{F}$ ッ jν テ 海縛ノ 居 7 才 jν 意 デアア 彼 , 籐; jν

又第十頁ニ「かきつばた、 カラデ アアル 太キ脈アリ幅廣 シート アレ ŀ モ かきつ ばた /ノ薬ニ ハ 決 € テ 太 丰 脈 ナ 才

叉第十八頁 = 「觀賞用 ジタ菊 八花部 變化甚ダ シク結實セ ガ ルモ ノ多 シ爲メニ根分ケ挿木 ョリテ繁殖

種子ガ 結實シ能 一ニ擧ゲ H ク 來 ナ 種子ガ出來ル朝作 タ様ナ滑稽ヤ誤謬ハ一日モ早ク訂正シ確實ナル智識ヲ少國民 イカラスル 方法デ ッハ 此種子ヲ蒔テ變リ品ヲ索ムル事 ナイ是レハ親木通リノ品種ヲ續 **ザガアル** カシテ作り 又弱 = 授 ø 根 イ ケ ラレ 分 カ ラ ・デアル ン = ŀ 揷 ヲ 切 木 何 望

## )民間薬トシテあまどころ並ニおもとノ功能

療法ヲ用井更ニ醫藥ヲ顧 地下莖ヲ擦リ潰シ之レニ少量 素人ニハ見分ケ ミナ ガ出 オ 程デアル冬時ニテ 來ヌト見 1 エテ千葉縣 糊ヲ加へ貼附 ۰۰ 豫ジメ該草自 下デ ロスル時 共 ニあまどろ ハ僅 生ノ地ヲ覺 カ數日

横濱植物會會員

伊

藤

初

太

郎

おもとノ功能 擦り潰シ 其汁 ヲ 度 或ル人カラ 夕服 用 シ テ可 何 **イ** ∟ = 咳 ŀ ニョラズ咳 聞 7 タ、 ベノ 出 ソ = ï デ 自分ハ之ヲ實驗シテ見 時ハおもとノ根即 チだんご又ノ名 タ ガ顋 w 能 v ク 易 利 イ 實 夕 即 チ其法 地 下 莖

民間楽トシテあまどころ並ニおもとノ功能